入選

ママへ「ママへおねがい」

（埼玉県 越谷市）
私立星美学園小学校　三年
斉藤　みづほ

ママ、お風ろの時もうちょっとやさしくあらってよ。
「ママ　あらって。」
の一言で、まるで全自動せんたくきのスイッチオンでわたしのことをあらってくれるのはいいんだけどね。
あらってくれるのはうれしいよ。でもせんたくきの中でもみくちゃにされているみたい。
頭をあらっている時は、耳の中にあわが入ってしまう。
目にあわが入って、
「タオルとって、はやくぅ。」
なんていったらぎゃくに、
「だったら明日から、自分であらいなさい。」といわれてしまう。
だからそういうことは、言えないし。これがこまったところ。
頭の次は体。せなかをいきおいよくすごい力であらわれてしまいフラフラ。
このいきおいでやられるとくすぐったくてしかたがない。ひたすらがまん。
流す時は、頭からいきおいよくお湯をかけられてしまうけど、これはまんざらいやではないよ。
わたしは一人でもあらえる。でもただあらってもらいたいだけ。
もしかしたらママは、めんどうくさいのかなぁ。たぶんそうだ。ママは、いつもこう言っている。
「一人で三人分あらわなきゃいけないんだから。もー。」と。
でもそういいながらあらってくれる。
ママはいつまであらってくれるのかなぁ。
ママとお姉ちゃまとわたしで入るお風ろは、少しきゅうくつになってきちゃったね。
一週間ぐらい自分一人であらってみようかなぁ。でもやっぱりママの全自動せんたくきが大好き。
また今夜もスイッチオンしちゃおう。ママよろしくね。